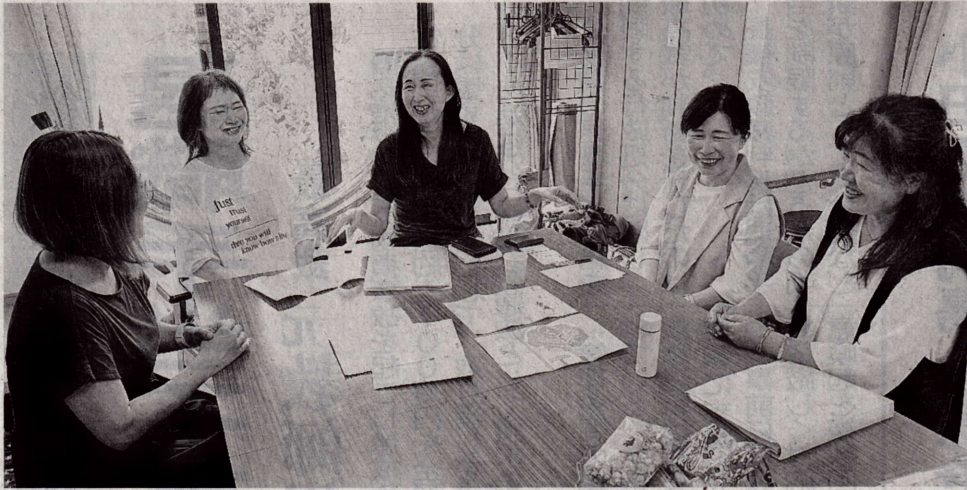


学校に行きづらい子どもとその親向けの居場所「ドリームサポート」の運営が、宮崎市下北方町の住宅の一室を活用して今月から始まっている。週に2回開き、元教員や不登校の子どもを育てた経験のあるボランティアが常駐し、子どもを見守り、保護者の相談に乗る。代表で生活困窮者支援にも関わる上水真琴さん(51)「宮崎市」は「親子の困りごとに寄り添い、行政や民間の支援機関などにつながる総合窓口を目指したい」と利用を呼びかける。

不登校児の居場所に

ドリームサポート (宮崎市)



「ドリームサポート」を開設した上水真琴さん(中央)と、運営を支援するボランティア＝宮崎市下北方町(米丸悟撮影)

親子寄り添い支援つなぐ

上水さんは自身に不登校の子どもを抱え悩む友人がいたことをきっかけに、親子の居場所づくりを2年前から模索してきた。カウンセリングやヨガ講座の講師を務めることのできる人を含め、女性4人のボランティアも見つかり、本格始動した。上水さんは「子どもや親が安心して楽しく過ごす場になりたい。ほかの支援団体とも連携し、不登校の背景にある悩みや問題の解決を目指す」と話している。

本年度は県や同市の補助を受けて運営。開所中は、ヨガ講座や不登校を経て高校受験をした人の話を聞く会を考えている。子どもに夢や目標を持つてもらおうと、生け花や書道などの体験会も予定。県eスポーツ協会と連携してゲームとの付き合い方を学び、クリエイターを育成することも検討しているという。

メールアドレス: dresup_o0@gmail.com

生活困窮者に住居支援

★「プレみや」にも掲載

などを行う同市のNPO (徳留亜弥)